

Adobe Media Server 5を使った動画 配信システム構築セミナー

PC、スマホ、タブレットへの動画配信の方法

2013/11/13

15:00 ~ 17:00

株式会社サムライズ
Adobeソフトウェア事業部



SAMURAIZ
Real Solutions for Enterprise Web

©Copyright SAMURAIZ Corporation 2013

アジェンダ



プログラム

SESSION 1	15:00~15:10	ご挨拶「インターネット動画配信についての現状と今後について」
SESSION 2	15:10~16:00	<p>Adobe Media Serverを利用した動画配信をやってみよう Adobe Media Serverをインストールしてライブ、VOD配信ができるまでの一連の流れをデモでお見せします。</p> <p>株式会社サムライズ ダイナミックメディアビジネスユニット</p>
SESSION 3	16:00~16:30	<p>動画配信事例ご紹介「AMSを活用した会員限定動画配信」 メガDOGAを使った動画管理機能+会員管理及び認証の仕組みを説明し、具体事例をご案内します。</p> <p>フォー・フュージョン株式会社</p>
	16:30~17:00	質疑応答

サムライズのご紹介



会社名：株式会社サムライズ (Samuraiz Corporation)

住所：東京都中央区晴海三丁目2番22号 晴海パークビル

創立：2006年7月 (アイ・ティフロンティアからスピンアウト)

事業内容：

- ソフトウェア販売事業 (国内外ソフトウェア製品のマーケティング及び販売)
- サービス&サポート事業 (保守、教育サービス、各種サービス)
- IT関連の事業開発・事業開発支援

取扱製品：

Adobe Media Server, Adobe Connect Adobe ColdFusion,
Adobe In Design Server Adobe Presenter, Adobe LiveCycle

Webアクセス解析、システム監視ツール、BI (InsightNavi) など

セッション1

- 動画配信の今と今後
- AdobeMediaServerとは
- なぜ動画配信でAdobe
Media Serverなのか

動画配信の今と今後

動画配信市場は急成長中

フェイスブックも参入！WEB動画広告がテレビCMに取って代わる時代到来！？

瀧良太 | (株)LOCUS代表取締役/動画マーケティングコンサルタント
2013年9月25日 12時22分



日本経済新聞 11月11日 月曜日

English

中文

Web刊 速報 ビジネスリーダー マーケット マネー テクノロジー ライフ スポーツ 朝

トップ : 特集 : コラム : 読者アンケート : 紙面連動 : 社説・春秋 : 映像 : NISA : 消費増税

有料会員限定 記事 今月の閲覧本数: 1本 登録会員の方は月 10本まで閲覧できます。

動画配信、2017年度に1300億円市場に 11年度比71%増

2013/9/18 1:10

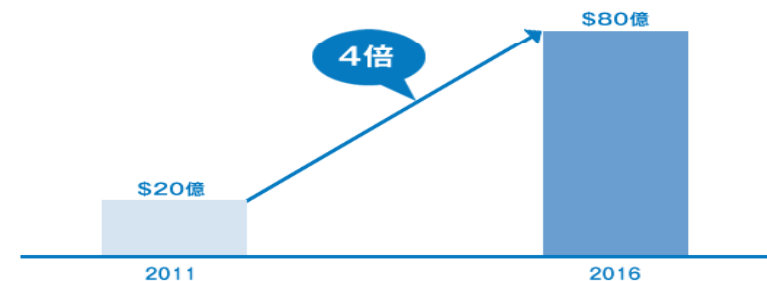
2013年09月02日 19時45分 更新

楽天、動画コンテンツ配信のVikiを買収 デジタルコンテンツ事業を第3の軸に

ストリーミング動画コンテンツ配信を展開する米Vikiを楽天が買収・完全子会社化。ECと金融サービスに加えデジタルコンテンツを3つめの主軸として「楽天経済圏」拡大を目指す。

[ITmedia]

✓ 動画広告の市場規模は5年で4倍。



欧米のWEB動画広告市場は、2013年の段階で既に4,000億円を突破。これが、4年後の2017年には約1兆2000億円市場に成長すると予測されています。

〈参考: eMarketer〉

動画配信の市場


- 動画共有サービス(UGC)
ユーザが自由に動画投稿共有可能
YouTube, ニコニコ動画、Ustreamなど
- VODサービス
著作権クリアしたプレミアコンテンツが視聴可能
1タイトルごとのばら売り、月額定額見放題など
Gyao、Hulu NHK オンデマンドなど
- 動画広告
ユーザーが視聴する動画コンテンツの前後に再生されたり、バナー形式で配信される動画広告
Google動画広告など

動画配信の市場

－ IR企業イメージ・製品プロモーション

IR サイト

株式会社プロトコーポレーション 2014年3月期 第2四半期決算説明会



00:37 78%

スライドショー資料の配布

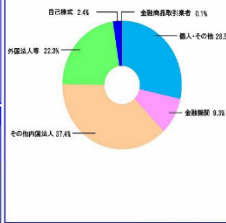
スライドショー資料目次

- 2013年4-9月期のトピックスと今後の取り組み
- 業績見直しサマリー

連結主要データ	
発行済株式総数(百万株)	20.9
当期純利益(百万円)	299.2
1株当たり当期純利益(円)	37.5
1株当たり純利益(円)	106.65
1株当たり純資産(円)	1,164.20
ROE(%)	9.9
ROA(%)	15.8
当社の資本比率(%)	65.2
連結売上高	-

大株主(上位5名)	
1) 株式会社三菱	8,807 (22.50%)
2) JPMorgan Chase Bank, N.A. (Tokyo Branch)	1,008 (5.19%)
3) 株式会社三井住友銀行	840 (4.21%)
4) 日本クレジットサービス信託銀行株式会社(信託口)	619 (2.95%)
5) The Chase Manhattan Bank, N.A. (London Stock Lending Omnibus Account)	558 (2.65%)

株式分佈状況



自任株式 2.6% 金融機関等持分者 6.1%
個人その他 28.0% 金融機関 9.3%
その他持分者 54.0%

外国法人等 22.2%

(2014年9月30日現在)

製品プロモーション

TVCM・ムービーライブラリトップへ戻る TVCM・ムービーライブラリー

人気 TVCM クルマ イベント 機能・技術 企業



この動画をシェアする

[86車種ページはこちら](#) [カタログ請求](#)
[見積りシミュレーション](#) [取り扱いのお店を探す](#)
[試乗予約](#)

86 TOYOTA 86 テレビ番組『峠[TOUGE]』volume 069

おすすめ動画

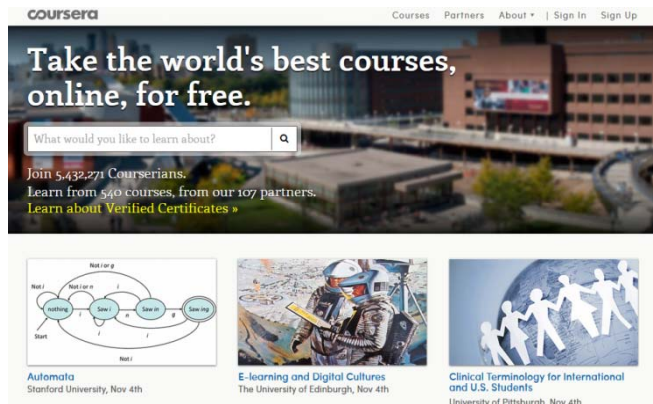
- 86 TOYOTA 86 テレビ番組『峠[TOUGE]』volume 069
- エスティマハイブリッド『エスティマHV DRM完成』篇
- ヴェルファイア ヴェルファイア 特別仕様車 "GOLDEN EYES II"
- 86 TOYOTA 86 テレビ番組『峠[TOUGE]』volume 068
- TOYOTOWN 『不思議なカーチェイス』篇 30秒
- 86 TOYOTA 86 テレビ番組『峠[TOUGE]』volume 067

動画一覧へ

動画配信の市場

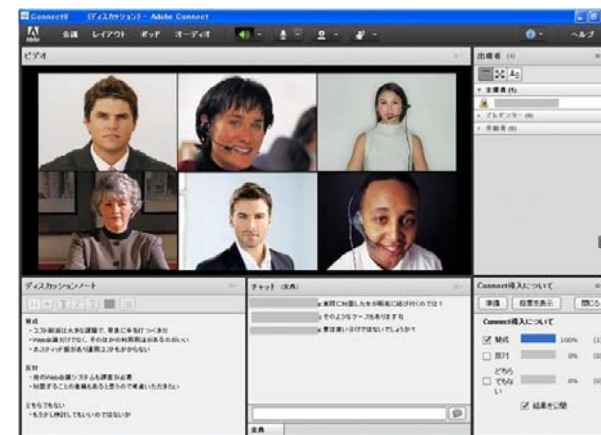
遠隔教育、eラーニング

MOOC (Massive Open Online Course)、受験サプリ



The advertisement for "受験サプリ" (Examination Supplement) features a character with glasses and a blue scarf holding a red tablet. The text reads "センター試験、あと10点で未来は変わる!" (Center Exam, 10 points more and the future will change!). Below the text, it says "今なら無料でセンター対策。全6教科の特別講義と、模試に過去問、解説も!" (Now free center exam preparation. Special lectures for all 6 subjects, and past papers, explanations, and mock exams!). The top navigation bar includes "受験サプリ" logo, "機能" (Features), "実績" (Achievements), "料金" (Fees), "よくある質問" (FAQ), "ログイン" (Login), and "メンバー登録" (Member Registration).

— Web会議、ウェブセミナー



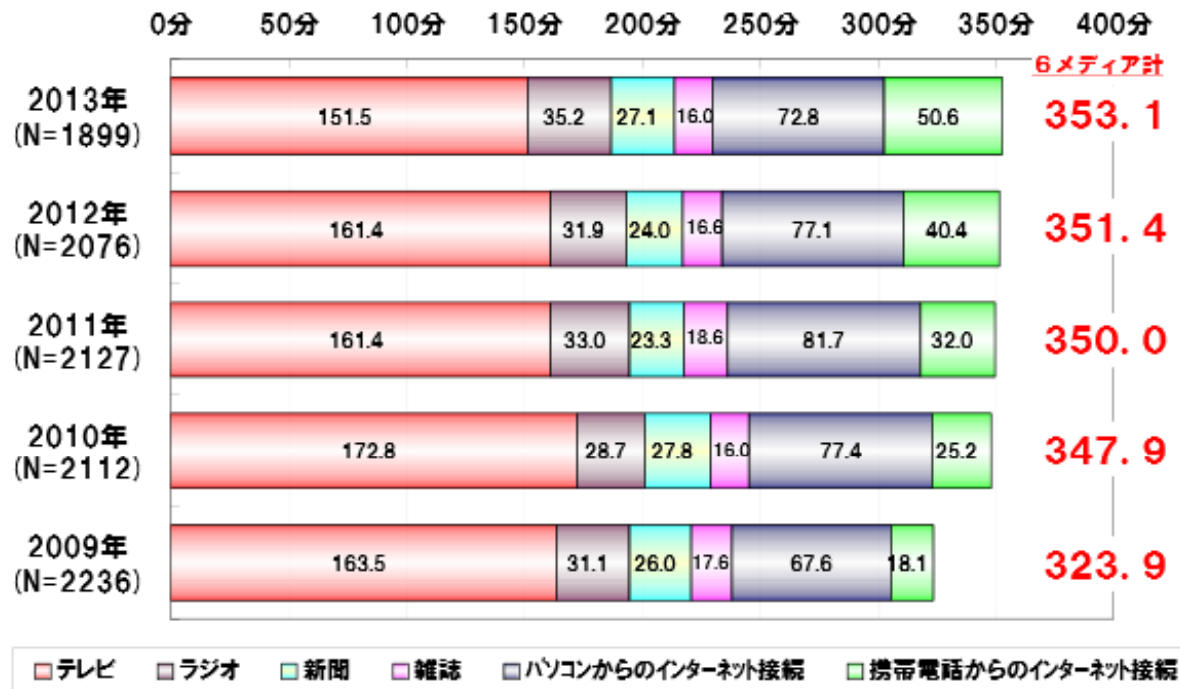
インターネット接触時間

～メディア環境研究所「メディア定点調査2013」(博報堂DYメディアパートナーズ)

1) マス4媒体からインターネットまでを合わせた1日のメディア接触時間の推移 週平均 (時系列) :東京地区

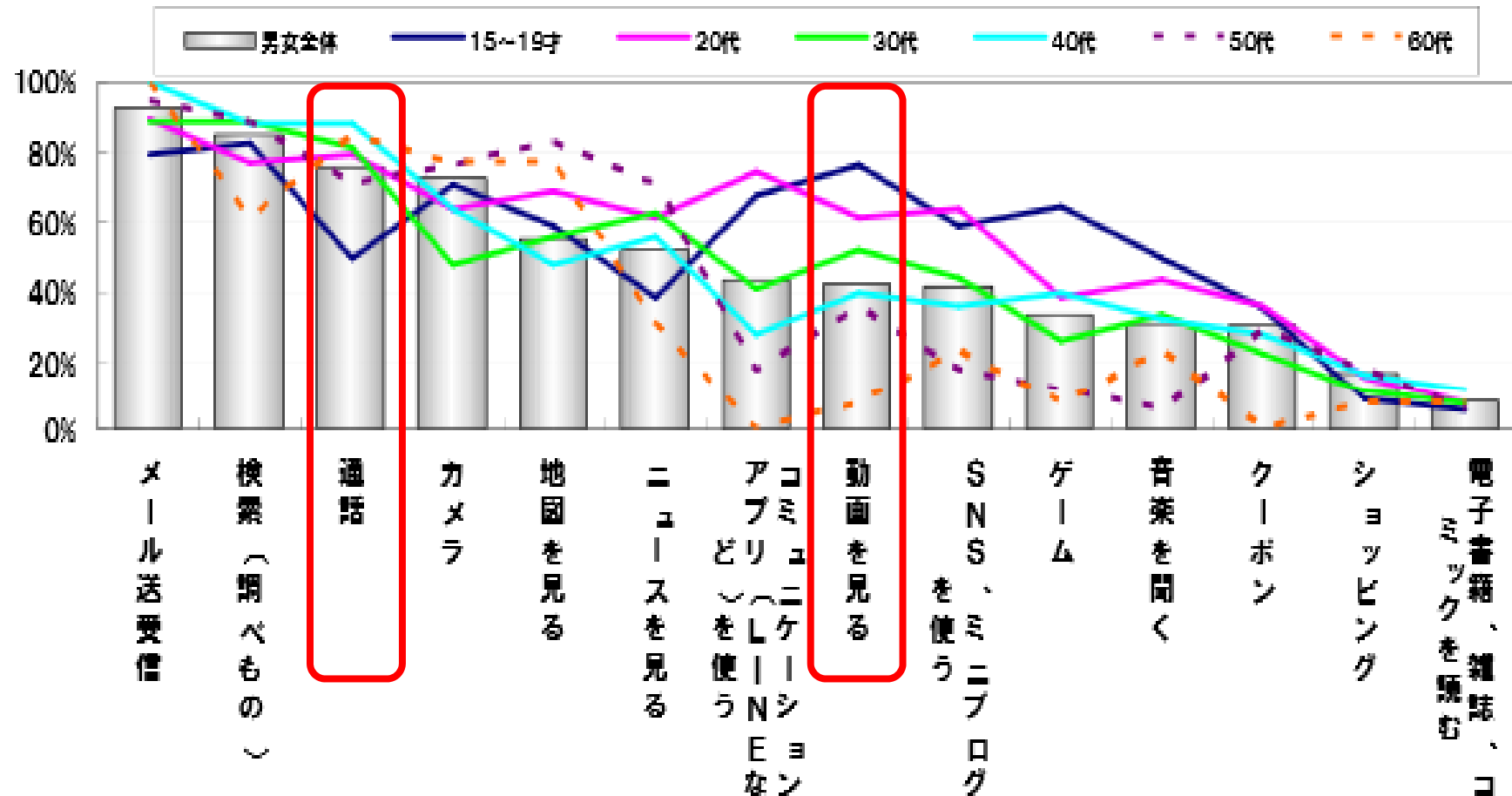
・メディア接触時間は2010年以降、350分前後を推移で変わらず。

・携帯電話(スマートフォン含む)からのインターネット接続時間が増加。(12年40.4分→13年50.6分)



- ・テレビは減少傾向、インターネット(PC+携帯)が増加傾向
- ・ネットへのパソコンからのアクセスは減少、携帯からのアクセスはアップ

スマホ利用機能(世代別)



10代(青い線)は通話以上にコミュニケーションアプリ、**動画**、SNSが高い

今後は.....

オンラインビデオ配信のこれまでとこれから



MPEG-DASHへの対応



HTTP を介した Dynamic Adaptive Streaming (DASH) は、HTTP ベースのアダプティブ・ビットレート・ストリーミング・メディア向けのオープンな国際標準

どのデバイスでもMPEG-DASHなら再生できるという相互運用性の環境性を目指す

Adobe Media Serverも対応していく予定

Adobe Primetime



Adobeのプレミアム動画配信収益化プラットフォーム

海外のTV局Comcast、NBC Sports、Turner Broadcastingで採用

- HTTPストリーミング
- 字幕標準
- 映像広告挿入対応
- コンテンツ保護

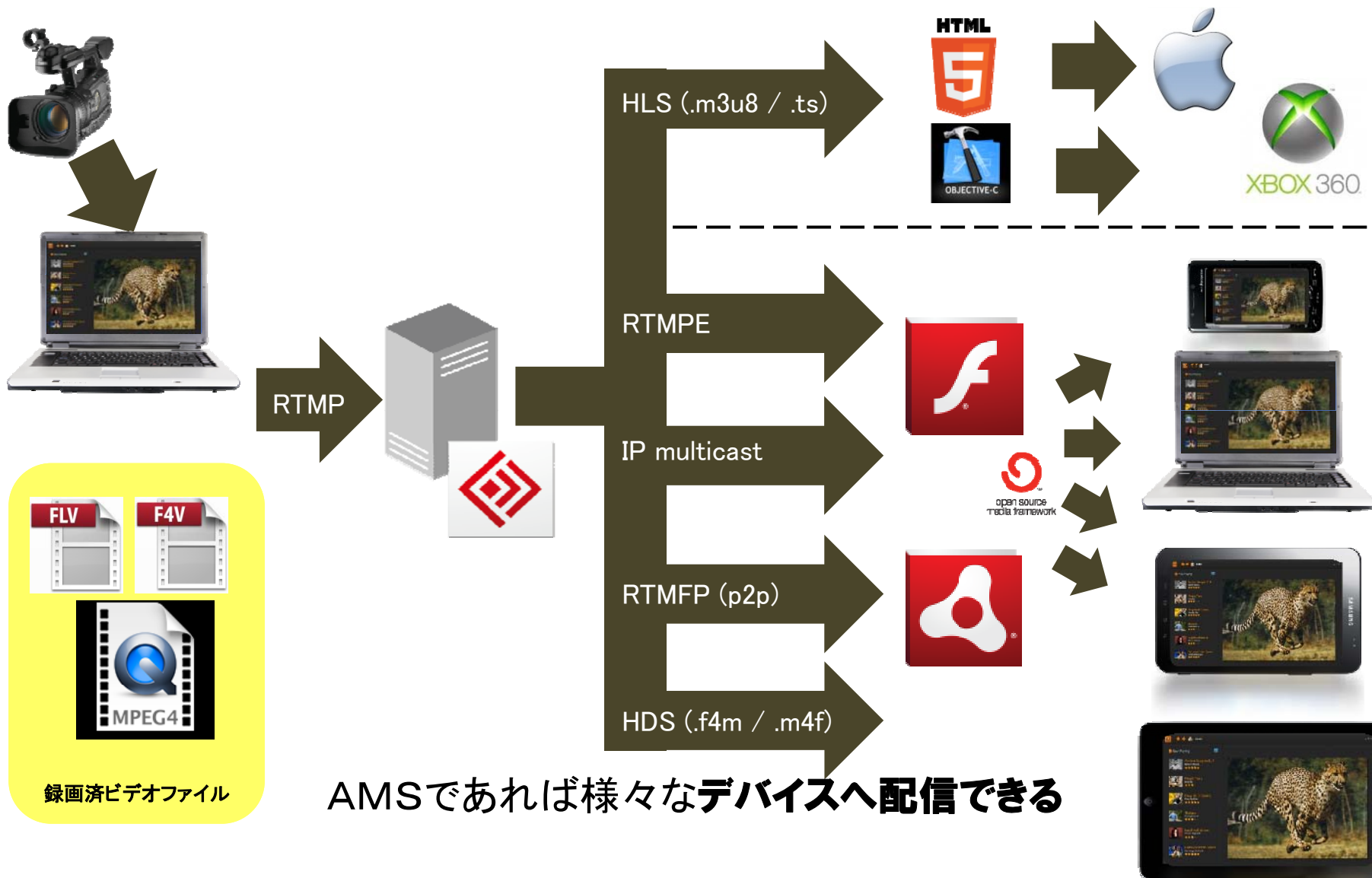
AdobeMediaServerとは



AdobeMediaServerとは

- ・Adobe の純正動画配信ストリーミングサーバ。 FCC→FMS→AMSと進化。 FCCリリースから今年で11年目
- ・採用実績多数。 大規模動画サービスで利用されている利用されており信頼性が高い
- ・ライブ、VOD配信に対応 動画コンテンツを安全に配信
PCだけでなくスマホ、タブレット、IPTVへも配信可能

マルチデバイスへの動画配信

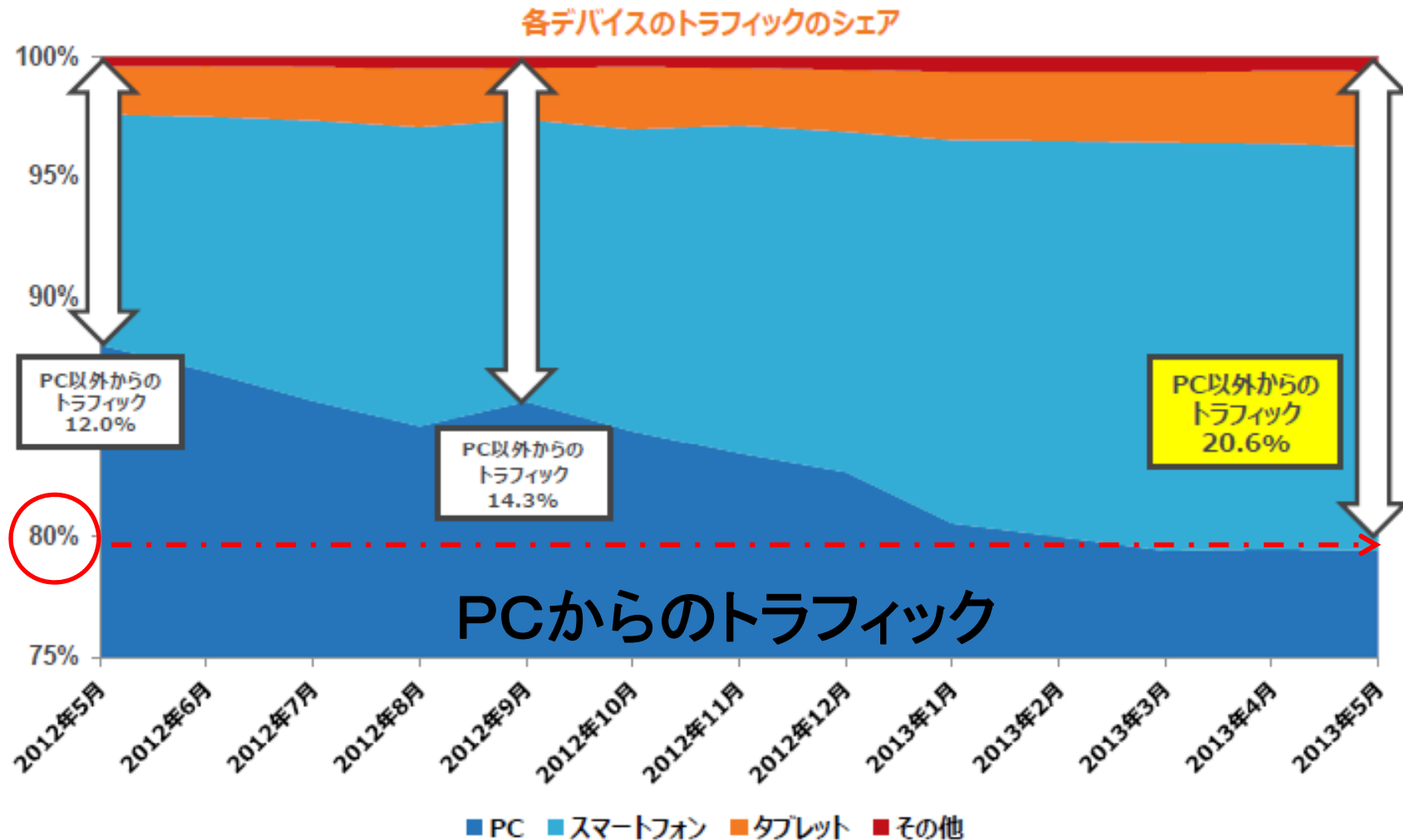


なぜ動画配信でAdobeMediaServerなのか



- **PCでのユーザへのリーチ最大化が可能**
- **マルチデバイスへの配信が可能**

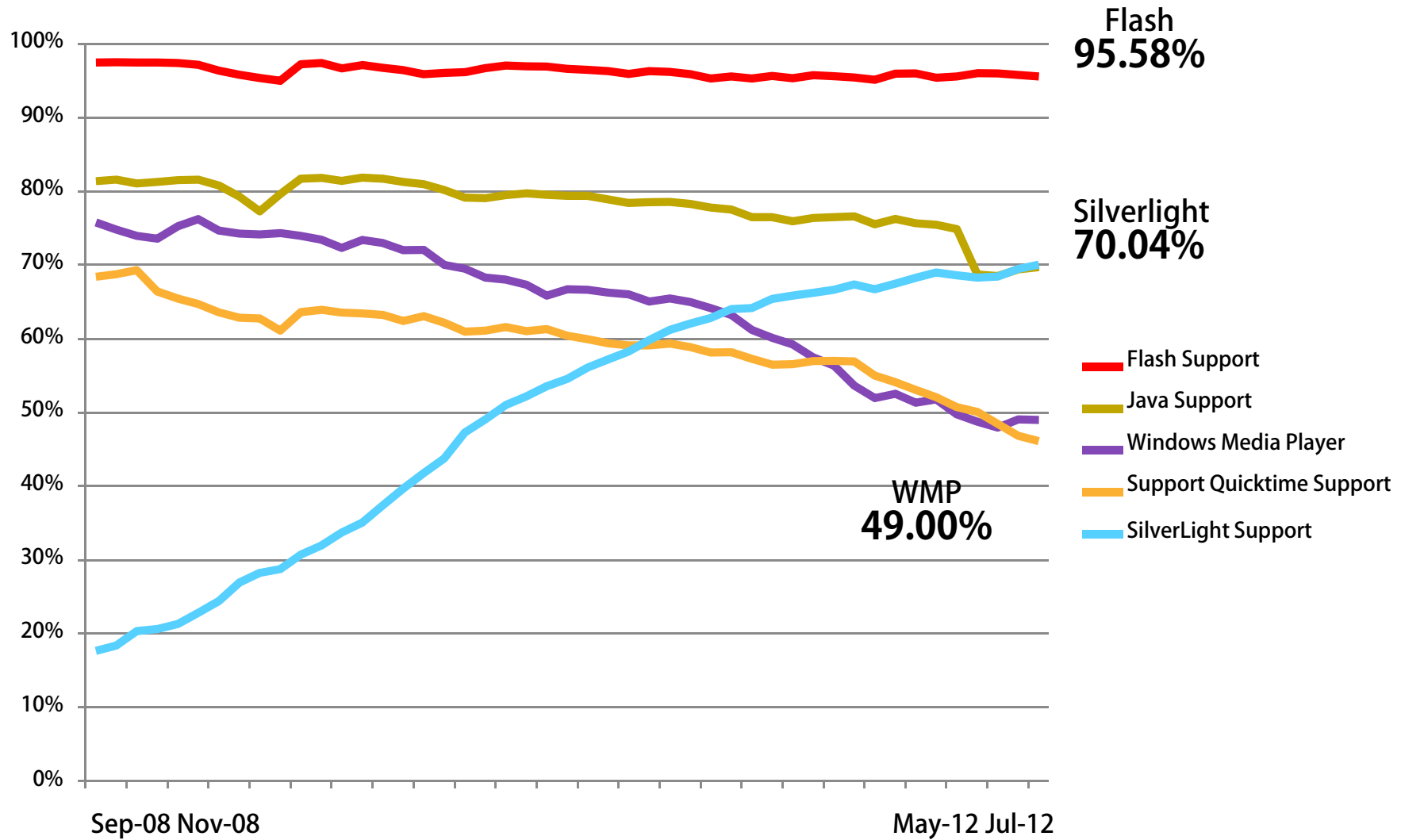
各デバイスのトラフィックシェア



PCからのアクセス80%、それ以外は20%を超えてきた

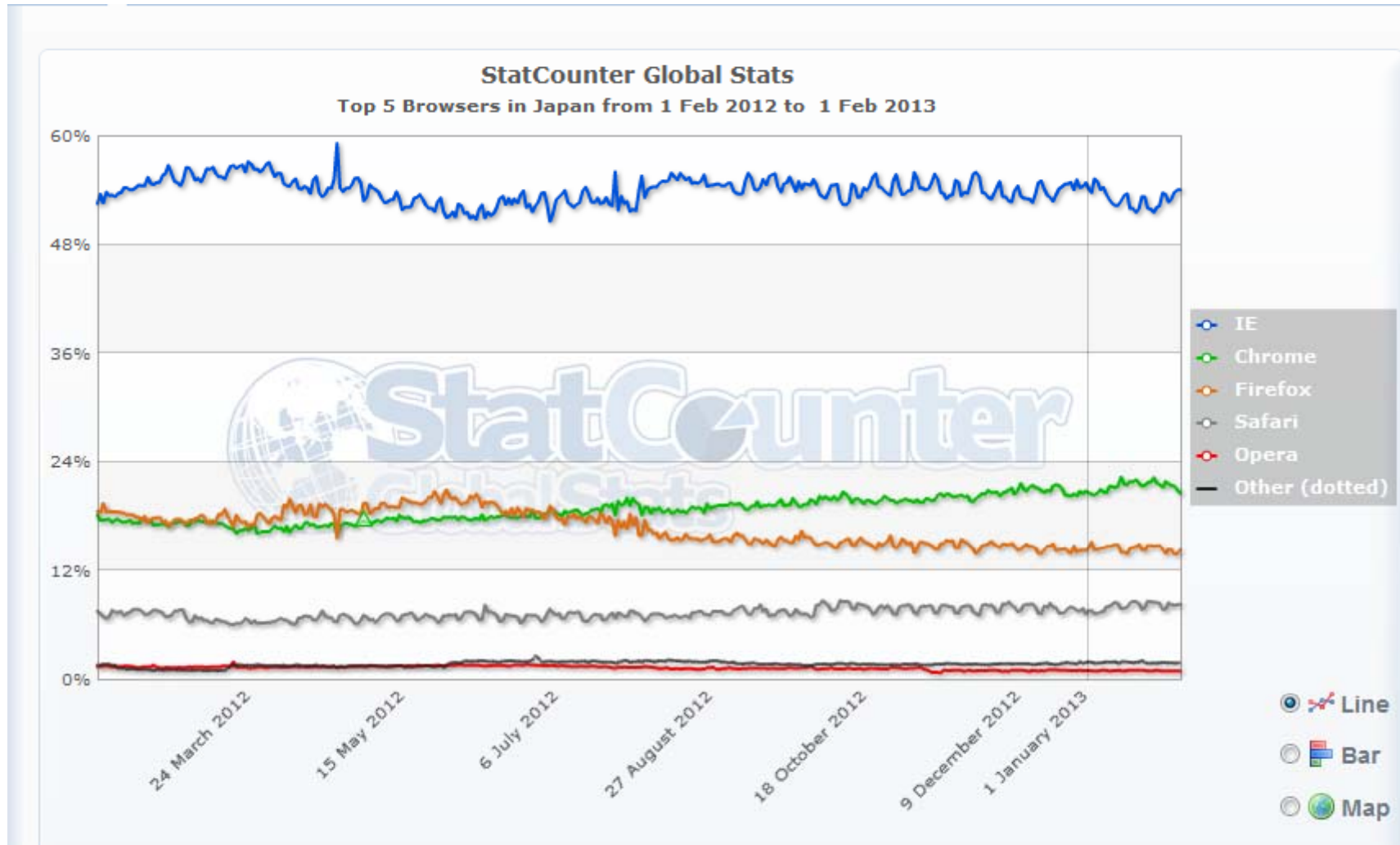
**PCでのユーザへのリーチ最大化
が可能**

ブラウザプラグインシェア推移 (ワールドワイド)



Flashが最もブラウザへプラグインされていてリーチが広い

ブラウザシェア



IEのシェアは5割、Chromeが2割で伸びてきている

ブラウザのHTML5対応状況

CSS3 Properties

	MAC						WIN								
	 CHROME	 FIREFOX	 OPERA	 SAFARI		 CHROME	 FIREFOX	 OPERA	 IE						
	25	20	12	15	5.1	6	25	15	12	6	7	8	9	10	
RGBA	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✗	✗	✓	✓	91%
HSLA	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✗	✗	✓	✓	91%
Box Sizing	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✗	✓	✓	✓	35%
Background Size	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✗	✗	✓	✓	90%
Multiple Backgrounds	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✗	✗	✓	✓	90%
Border Image	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✗	✗	✗	✗	85%
Border Radius	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✗	✗	✓	✓	91%
Box Shadow	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✗	✗	✗	✓	✓	91%

IEのHTML5対応はVer9以降

Microsoft社によるFlash Playerサポート

Flash PlayerはIE10 for Windows 8、
Desktop IE10 for Windows 8、Modern UI
IE10 for Windows RT (Surface etc.) に**100%**
**組み込まれる (他のプラグイン=Silverlight
はDesktop以外動作しない)**

Windows 8 の Flash

2013年3月16日 4:09

2 コメント

明日から Windows 8 と Windows RT の Internet Explorer 10 を更新し、Flash コンテンツが既定で動作するようにします。Windows 8 のデスクトップの IE では、Flash コンテンツは今後すべて有効になります。

過去数か月間以上テストして確認したところでは、Flash コンテンツがあるサイトの大多数は、タッチ、パフォーマンス、バッテリー寿命といった Windows エクスペリエンスとの互換性が確保されています。この更新を適用しても、タッチ操作が可能な Windows エクスペリエンスと互換性が依然として確保されていないが、他のプラグインに依存している一部のサイトでは、キューレーションされた互換表示 (CV) リストによって、Flash コンテンツがブロックされます。

私たちは、IE10 でより多くのサイトが "動作するようにするだけ" で、ユーザー、企業、開発者のエクスペリエンスも向上すると考えています。実際問題として、よく使うサイトの Web コンテンツは、普段持ち歩くデバイスでどこでもアクセスできるようになっていなければなりません。アクセスできないと、そのデバイスは PC のおまけにすぎなくなります。一部の人気 Web サイトでは Adobe Flash が必須で、代替手段として HTML5 に対応していないため、Adobe と Microsoft は、Windows エクスペリエンスに最適化された Flash Player を提供できるよう密接に協力しています。

	Windows 8	Windows RT
イマーシブ IE	CV リストになければ有効	CV リストになければ有効
デスクトップ IE	すべてのサイトで有効	CV リストになければ有効

これにより、Windows 8 ではイマーシブ IE エクスペリエンスが更新され、Windows RT ではイマーシブおよびデスクトップ IE エクスペリエンスの両方が更新されます。更新は Windows Update から利用できます。Flash がブロックされる最も一般的な理由は、Windows RT で使用できない他のプラグインがサイトで使用されていることです。そのため、キューレーションされた CV リストが Windows RT のデスクトップの IE に適用されます。

Flash Playerのサポート

Adobeが 今後5~10年間のロードマップ を公表 Video & Gameにフォーカス



The screenshot shows a web browser window displaying the Adobe Developer Connection (ADC) page for the Flash Player roadmap. The page title is "Flashランタイムのロードマップ" (Flash Runtime Roadmap). The main content includes a download link for the PDF version (110 KB), a summary section, and a detailed introduction to the Flash runtime.

Adobe Developer Connection [ADC] / Flash Player デベロッパーセンター /
Flashランタイムのロードマップ

このホワイトペーパーのPDF版をダウンロード (PDF、110 KB)

このドキュメントでは、Adobe Flashランタイムの概要と、Flashランタイムの開発のロードマップについて説明します。このドキュメントの主な目的は、Adobe Flash PlayerおよびAdobe AIRに組み込まれているFlashのコア機能の今後1~2年の見通しに関する、アドビの現在の方針と計画をお伝えすることです。

注意：このドキュメントに含まれる情報は現時点でのものであり、その内容は予告なく変更されることがあります。先の時期になるほど、ロードマップの詳細が変わりやすくなります。ここで取り上げている項目について計画が大幅に変更された場合は、このドキュメントの内容を適時更新します。このドキュメントの最新版は、adobe.com/go/flashplayer_roadmapでいつでもご覧いただけます。

概要

過去10年間にわたりFlash PlayerとAdobe AIRは、豊富な機能を備え、表現力に富むコンテンツを様々なブラウザ、デスクトップおよび端末に配布するための一貫したプラットフォームとして、Webコンテンツの開発に重要な役割を果たしてきました。アニメーションを可能にするプラットフォームとして開発されたFlashランタイムは、あらゆる機能を備えたマルチメディアプラットフォームへと進化し、以前は不可能だったWeb体験を提供できるようになりました。

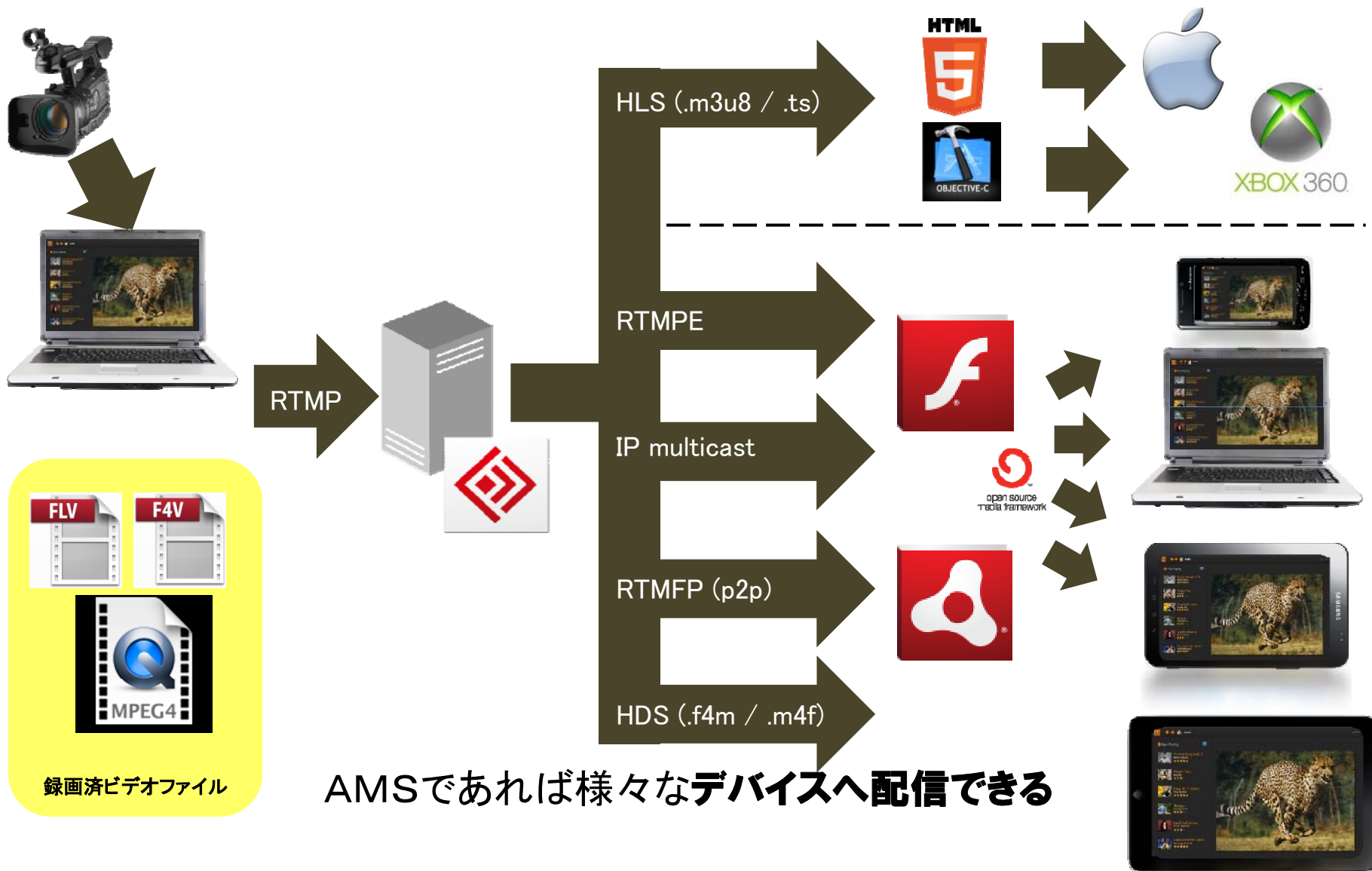
アドビは、Flashがゲームやプレミアムビデオの制作に最適なアプリケーションであると確信し、これらの分野に重点を置いてFlashの開発に取り組みます。それと同時に、多様なモバイル端末向けに優れたWeb体験を提供できるプラットフォームとして今後もその優位性を維持できるように、このランタイムに採用されているアーキテクチャや言語に変更を加えて行きます。

Flashランタイム

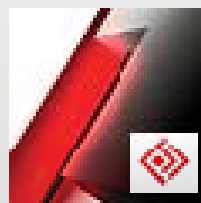
Flashランタイムとは、2つの主要なランタイムであるFlash PlayerとAdobe AIRを意味します。コアのマルチメディアテクノロジーのセットを基礎とするこれらのランタイムは、様々なブラウザ、オペレーティングシ

マルチデバイス への配信が可能

マルチデバイスへの動画配信



ライセンスについて



Adobe Media Server 5 販売について

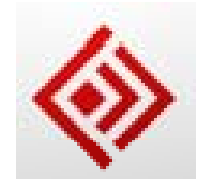
	AMS5 Standard	AMS5 Professional
FLP	○	○
製品版価格	115,500円	585,000円
製品保守価格 Maintenance & Support	23,100円	117,000円
アップグレード価格	48,000円(*1)	259,000円(*2)

開発目的のAMS5Starterは無料です



Adobe Media Serverのエディション

	Adobe Media Server 5 機能	Standard	Professional
キャパシティ	RTMP通信	無制限	無制限
	HTTP Streaming for Flash(HDS) and Apple iOS(HLS)	無制限	無制限
	IP マルチキャスト	-	無制限
	RTMFP (P2P)	-	500
	SIP ポート	-	5
	拡張性	Origin Edge 機能	-
ストリーミング VIDEO	マルチキャストフュージョン	-	○
	アプリケーションレベルマルチキャスト	-	○
	ストリーム分割	-	○
	録画	-	○
コンテンツ保護	Protected HDS for Flash	-	○
	Protected HLS for iOS	-	○
コンテンツ保護	Adobe Access DRM ready	-	○
	P2Pとマルチキャストの暗号化	-	○
セッション LIMIT	高画質ビデオキャプチャー	1Way	2Way
	強力なサーバサイドプログラミング	-	○



お役立ち情報

AMSについての情報を当社のHPのAMS製品ページ掲載しております。是非ご参照ください。

- ・AMS 5 日本語訳のマニュアル(Web版) → PDF版もございます
- ・AdobeのAMSの技術情報ページへのリンク
 - ①サイジング資料
 - ②ティップス
 - ③動画配信チームのBlog
- ・エディションごとの違い
- ・AMSの開発パートナーのご紹介

動画配信プラットフォーム Adobe Media Server

SAMURAI Z
Real Solutions for Enterprise Web

製品に関するご質問・ご購入
お問い合わせ

HOME 製品概要 利用イメージ 技術情報 セミナー FAQ Adobe Media Server Associate

Flash Media Server から Adobe Media Server へ

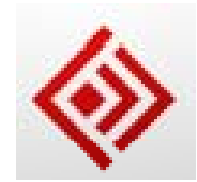
アドビシステムズ社が提供するストリーミングサーバー「Adobe Flash Media Server 4.5」の後継バージョン「Adobe Media Server 5」がニューリリース！！

[新製品リリースの詳細はこちら▶](#)

Adobe Media Server は、ライブやオンデマンドでのストリーミング動画配信を実現するプラットフォームです

Adobe Media Server はインターネットに接続されたコンピュータの98%以上にインストールされているAdobe Flash Playerを使用して、動画を再生させることができます。最新版では Apple iOS や Android を搭載したデバイスを含め、複数のプラットフォームにメディアを配信できるようになりました。動画ファイルを、ユーザからのリクエスト毎に配信可能な状態へ加工することで、複数のプラットフォームへの配信が可能になります。パワフルなプロトコルは、月間最大データ転送量のコストを大幅に削減し、ネットワーク負荷を軽減できます。卓越したメディア体験を提供するために、高品質なコンテンツを安全に配信しリアルタイムで暗号処理を行います。

©Copyright SAMURAI Z Corporation 2012



お役立ち情報

AMS5日本語参考マニュアル(Web版、PDF版)

目次

- 第1章: メディアのストリーミングの概要
- 第2章: コンテンツ保護
- 第3章: アプリケーションの開発の概要
- 第4章: ストリーミングメディアアプリケーション
- 第5章: ビデオの操作
- 第6章: ピアシストネットワークング
- 第7章: ソーシャルアプリケーションの開発
- 第8章: アプリケーションのセキュリティ確認
- 第9章: プラグインの開発

第1章: メディアのストリーミングの概要

- サポートされているクライアント、エンコーダー、コーデックおよびファイル形式
- ストリーミングサービスでサポートされているクライアントおよびサーバー
- サポートされているファイル形式とコーデック
- サポートされているエンコーダー
- 構築済みの Media Player
 - Flash Media Playback でのメディアの再生
 - Strobe Media Playback でのメディアの再生
 - Adobe Media Server サンプルビデオ Player でのメディアの再生
- ライブメディアのストリーミング (HTTP)
 - スライディングウィンドウの設定 (HLS)
- ライブメディアのストリーミング (RTMP)
 - チュートリアル: ライブメディアのストリーミング (RTMP)
 - RTMP 経由でライブストリームをバブリッシュおよび再生するための URL
 - ライブサービスの複製
 - ライブサービスでのサーバーサイドコードの変更
 - ライブサービスの無効化
- オンデマンドメディアのストリーミング (HTTP)
 - オンデマンドメディアをストリーミングするための前提条件 (HTTP)
 - HTTP 経由での単一のオンデマンドメディアファイルの再生
 - HTTP 経由でのオンデマンドマルチビットレートメディアファイルの再生
 - HTTP 経由でオンデマンドストリームを再生するための URL
- オンデマンドメディアのストリーミング (RTMP)

ADOBE MEDIA SERVER 5.0.1 デベロッパーズガイド

メディアのストリーミングの概要

Adobe Media Server による Apple HTTP Live Streaming のサポートには、オーディオビデオコンテンツ向けの H.264 と AAC/HE-AAC、オーディオのみのコンテンツ向けの AAC/HE-AAC が含まれています。詳細については、「Apple HTTP Live Streaming Overview - FAQ」を参照してください。推奨されるエンコード設定については、「Best Practices for Creating and Deploying HTTP Live Streaming Media for the iPhone and iPad」および「Recommended Encoding Settings for HTTP Live Streaming Media」を参照してください。

サポートされているエンコーダー

次のエンコーダーを使用してライブストリームを Adobe Media Server にバブリッシュします。

- Flash Media Live Encoder
- Adobe Media Server Extended, Adobe Media Server Professional および Adobe Media Server Starter で実行されるサーバーサイドスクリプト。サーバーサイドの ActionScript メソッド `Stream.play()` を呼び出すと、ストリームは「ライブ」と見なされます。
- カスタム構築された Flash Player または AIR アプリケーション。
- 他のエンコーディングソリューションについては、「Flash Media Server エコシステムパートナー」を参照してください。

構築済みの Media Player

Flash Media Player および AIR Media Player

お役立ち情報



開発パートナー様のご紹介(アソシエイツ)



Adobe® Media Server

製品に関するご質問・ご購入
お問い合わせ

- HOME
- 製品概要
- 利用イメージ
- マニュアル
- 技術情報
- セミナー
- FAQ

AMS Associate

HOME > Adobe Media Server Associate > 登録企業様一覧

Adobe Media Server Associate

アドビメディアサーバー
アソシエイツ



- Adobe Media Server Associate とは
- 登録企業様一覧
- 参加申込

登録企業様一覧

【Adobeサーバ製品に関するお問合せ先】

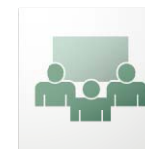
株式会社サムライズ
アドビ・ソフトウェア事業部
ダイナミックメディアユニット
TEL : 03-5548-8822



Adobe® ColdFusion®



Adobe® Media Server



Adobe® Connect™



Adobe® Access



Adobe® InDesign® Server

株式会社サムライズは、Adobe Systems Incorporated(米国)が開発、提供しているサーバ製品に関し、日本において、国内唯一の特別代理店として、Adobe Systems 日本法人の支援のもと販売、技術支援(サポート)、マーケティング活動を推進しております。